令和5年度学校経営構想図

児童の実態	学校教育目標	家庭・地域の実態
・学習や行事に熱心に取り組む。 ・課題解決に見通しをもち取り組む。 ・指示をよく聞いて、奉仕の心をもって学級活動、委員会活動に取り組む。 ・「読む」、「聞く」に比べ、「書く」、「話す」ことに自信がない児童が多い。 ・メディア接触が長く、家庭学習や読書の時間が充分に確保されていない。	**心身ともに健康で、言葉の力を発揮して考え、発信し、奥中山の未来をひらく子どもの育成** **思いやり支え合う子ども**　**つくりだす子ども**　**言葉に力がある子ども**	・一戸町南部の高原の農村地帯に学区があり、スキー場、ブナの原生林などの原野が広がっている。 ・学区には、特別支援学校、学校法人、福祉施設、老人介護施設が多数あり、交流が盛んに行われている。 ・学区にあるスポーツクラブが中心となり、スポ少の活動が盛んである。
めざす学校像	**研究主題**	**めざす教師像**
・創造の喜びを発見する楽しい学校 ・常に生気にあふれ、いきいきとした学校 ・敬愛と信頼に結ばれた学校 ・清掃が行き届き、整理整頓された学校	**主体的・対話的で深い学びをする子どもの育成** - 言葉の力を身に付け、自分の考えを表現する学習活動を通して- - 言葉を使って、自分の思いを表現する自立活動を通して -	・子どもに信頼され敬愛される教職員 ・子どもに達成感と充実感を保障する教職員 ・子どものために協働する教職員

学校経営理念　　当たり前のことを当たり前にできる学校

①学校教育目標を全職員で共有し、計画的・組織的に目標の実現に取り組む。　②児童が当たり前のことを当たり前にできるよう**「師弟同行」、「凡事徹底」**で取り組む。
③「チーム奥小」として諸問題の解決に協働的に取り組む。　④**「学校運営協議会」の機能を生かして**学校経営の不断の改善に取り組む。
⑤豊かな言語活動、体験活動、交流活動などを通して、**見方・考え方を働かせた「主体的・対話的で深い学び」**を実現し、言語能力、論理的思考力を育成する。
⑥児童一人一人の存在感を高め、自己決定・自己実現の場を保障し自己肯定感を高め、**他者とともによりよく生きる力**を育成する。
⑦新型コロナウイルス感染症対策を行い、子どもにとって良い「今できること」に取り組む。

学校経営の重点

①岩手で、世界で活躍する人材の育成　②確かな学力（言語能力）の育成　③豊かな心の育成
④健やかな体の育成　⑤特別支援教育の推進　⑥いじめ問題・不登校対策等への確かな対応
⑦「地域とともにある学校」づくりの推進　⑧働き方改革の推進

令和5年度奥中山小学校まなびフェスト

「心身ともに健康で、言葉の力を発揮して考え、発信し、奥中山の未来をひらく子どもの育成」

思いやり支え合う子ども

あいさつや温かい言葉で心を通い合わせ支え合い、奥中山の「ひと・もの・こと」が大好きな子

つくりだす子ども

自分の考えや思いをもち、先生、友達と対話・交流することを通して新しい考えや活動をつくりだす子

言葉に力がある子ども

進んで学習に取り組み、生きて働く知識・技能と言葉の力を身に付けた子

	思いやり支え合う子ども	つくりだす子ども	言葉に力がある子ども
学校の取組	☆思いやりの心を育てます ☆いじめの未然防止と早期発見、早期解決に努めます ☆地域の歴史・文化を尊重し、奥中山の次代を担う人材としての自覚を高めます	☆問題発見・解決する学習を大切にし自分の考えを進んで発信します ☆豊かな感性や表現力を育成します ☆健康・安全に対する意識を高め、望ましい生活習慣と危機回避能力を育てます	☆基本的な学習習慣を確立します ☆読む・書く・聞く・話す活動を大切にします ☆生きて働く知識・技能の習得をめざします
家庭の取組	☆毎日、挨拶をすること ☆子供会活動に積極的に参加すること ☆定期的に学校のことを話題にし、声をかけること ☆学校、地域の活動や「学校サポーター」に参加すること	☆自分の考えや思いをほめ、励ますこと ☆調べ学習、体験学習、ものづくりに一緒に取り組むこと ☆「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組むこと ☆災害時への連絡・対応・留意点を話し合うこと	☆学習の準備への声かけをすること ☆読書の年間読破目標への励ましをすること（低学年80冊、中学年60冊、高学年40冊） ☆家庭学習の取組の声かけをすること（低学年20分以上、中学年40分以上、高学年60分以上）